

パブリックコメントへの回答

令和2年11月24日～令和2年12月24日にパブリックコメントを実施したところ、1名の方からご意見をいただきました。寄せられたご意見等及びそれに対する町の考え方を公表いたします。

(反映状況の区分)

A：意見を反映し、案を修正した

D：意見を反映できなかった

B：既に案で修正済み

E：その他

C：実施段階または次の改訂で参考としていく

提出された意見	町の考え方	反映区分
<p>説明会資料18pによれば、下水道の収入支出内訳に占める一般会計からの繰入金が多額であり問題だと思えます。本来、上水道や下水道の費用はその受益者が費用の大部分を負担すべきと考えます。一般会計から多額の繰入をしている状況下においては、合併浄化槽の維持管理費用を支払っている人は、利用していない下水道費用をも税金で援助していることになり、非常に不公平な状況となっています。上里町の下水道料金は近隣の本庄市、深谷市、伊勢崎市と比較しても、大幅に安くなっています。一般会計からの繰入れが総務省で定めている基準内か基準外なのかは資料では明確になっていませんが、受益者負担の考えから改善すべきと考えます。</p>	<p>上里町の公共下水道は、雨水の排除、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全の機能をはたすことから、経費負担区分原則に基づき繰入を行っております。しかしながら、少しでも繰入金額を抑えるよう、今後も接続率の向上に取り組み健全な経営を目指してまいります。</p>	<p>D</p>

提出された意見	町の考え方	反映区分
<p>概要書(案) 4pによれば、「令和7年度までに公共下水道として整備可能な以下の地区を選定しました。」ということで簡単に次の2項目を選定しています。</p> <p>『1)上里第3処理分区、上里第4処理分区及び上里第5-1処理分区の計画策定済み区域(約141.0ha)』は、現状と、これらの地域を整備した場合についての資本的収支と維持管理費用の収支についてのシミュレーションを行い、長期収支の結果をもとに下水道整備を推進するか否かを定めるべきと考えます。</p> <p>同様に、『2)神保原駅南土地区画整理事業によって、神保原駅南地区は人口増加が見込まれるため、流域関連公共下水道区域へ接続する方針とします。(約45.0ha)』となっていますが、単に人口増加が見込まれるという不確定な定性的な判断だけではなく、人口増加しない場合とある程度増加した場合についてシミュレーションした上で、長期収支の結果をもとに下水道整備を推進するか否かを定めるべきと考えます。</p> <p>2項目とも、先に述べた一般会計からの繰入れが増加するようなら、整備せず中止すべきと考えます。</p>	<p>上里町の汚水処理施設の整備は、公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽整備事業により進めており上里町生活排水処理基本計画において、集合処理と個別処理の比較を行うため区域における整備手法及び費用検討を行い、下水道対象区域のみを公共下水道の整備区域として位置づけられております。</p> <p>また、上里町都市計画マスタープランにおいて駅周辺を中心拠点と位置付けており、神保原駅南区域については、シミュレーションの結果、現状の財政収支を維持したまま整備可能であると考えており、現状を踏まえた現実的な計画人口(人口減が見込まれる中、ほぼ現状人口程度を維持)を想定しております。</p>	<p style="text-align: center;">D</p>

提出された意見	町の考え方	反映区分
<p>説明会資料22pにある現在の合併浄化槽の補助制度は著しく不公平です。年度内に竣工する人から募集し先着順や抽選で補助を決める制度では、ある人には56万円の補助があり、ある人には全く補助がないことになります。数千円の補助の差なら容認もできますが、このような多額の補助の有無による不公平を生じるのは、行政の制度として問題だと考えます。補助は条件を満たした人全員に行き渡るようにすべきでしょう。予算総額が限られるならば、補助金額を下げてでも全員に行き渡るように改めるべきと考えます。</p>	<p>浄化槽設置事業補助金交付制度を含む合併処理浄化槽に関する施策については、今後の設置状況の推移や国・他市町の動向を注視し、必要に応じて検討していきます。</p>	D
<p>説明会資料9p以降には、現状の問題点がいろいろ書かれています。</p> <p>しかし、今回の見直しによってそれらがどのように改善されるのかが明確になっていません。せめて15pの現行計画の費用シミュレーションだけでも、今回の整備区域を見直した場合にどうなるのか、分かるようにしていただきたい。</p>	<p>説明会資料において現状の問題点等の記載はありますが、ご指摘のとおり整備区域を見直し後の記載はありませんでした。</p> <p>ご意見をいただきました現行計画の費用シミュレーションでは、2046年に新規整備と改築事業が集中し整備費が膨大となっておりますが、今回の整備区域を見直した場合のシミュレーションでは、新設事業と改築事業が集中していないことを確認しております。</p>	D